

機関リポジトリ発、電子リソースの今と未来

～ 講義 + グループワークの2日間 ～

XooNlps 研究会では機関リポジトリと電子リソースをメインテーマにワークショップを開催します。機関リポジトリの構築機関も増え、運用方法がこれからの課題になってきています。

いくつかの大学では、周辺システムとの連携し、その可能性の追求が行われています。例えば、目録情報や論文情報を同時に検索するディスカバリー・サービス(discovery service)や、電子情報でのテキスト提供などがあり、様々な「さがす」と「使う」をみなさまに2日間を通じて紹介・体験していただくと思います。

恒例の XooNlps ワークショップ『「つくる」「うごかす」「入力する」』に加え、電子リソースにかかわる各報告など、多彩なプログラムを用意しました。2日間で「今」と「未来」を展望します。年末のお忙しい時ではありますが、是非、ご参加ください。(具体的な内容は以下にまとめています。)

(A) 前回好評だった「つくる」「うごかす」「入力する」グループワークを開催、リポジトリ業務を体験。

機関リポジトリ運用の実際(メタデータ作成、PDF ファイルの作成・加工、一括での効率の良い入力方法)をグループワークで2時間かけて体験していただきます。

(B) XooNlps の最新バージョン情報と構築実習！

現在開発中の新しい XooNlps の紹介と実際の構築実習を行います。実習は LINUX インストールパソコンを使った実践的なものと考えています。

(C) リポジトリ発、「さがす」と「使う」はこれだ。

「さがす」では横断検索とディスカバリー・サービスの違いからメタデータの情報量による検索結果の違いまで、わかりやすく説明、実際の導入事例を報告。「使う」では機関リポジトリのノウハウと電子出版事業、電子図書館事業との関連、展望を語っていただきます。

ご参加は、XooNlps を導入している、していない、をまったく問いません。テーマにご興味をすこしでも持った方はお越しください。是非、構築後の様々を体感してみましよう。

主催：XooNlps 研究会・慶應義塾大学メディアセンター本部 CSI

共催：近畿大学中央図書館・奈良大学図書館

日時：2011年12月21日(水)13:00～12月22日(木)17:00 【2日間】

場所：大阪市立大学 学術情報総合センター 10F 会議室

参加費：無料 ※長い日程ですのでご興味のある部分だけの参加も可能です。

参加資格：何もありません。XooNlps 以外の構築機関の方、メタデータ、電子出版などにご興味のある方の参加を歓迎します。

申込方法：下記連絡先あてに、機関名、氏名、電話、メールアドレス、情報交換会出欠を明記してお知らせください。なお、部分参加も受付いたしますので、参加されるプログラムを明記していただけますと幸いです。申し込みは12月15日(木)までに、メールまたは以下のFormまでお願いします。

<https://docs.google.com/spreadsheet/embeddedform?formkey=dDJuOG01VmJmb2l4ZkdU2FsYi13V3c6MQ>

お問い合わせ・参加連絡先：慶應義塾大学機関リポジトリ担当 E-mail: koara_info@lib.keio.ac.jp

詳細:

【 1日目 】 12月21日(水)

12:00- 受付開始

13:00-13:30 (A) 図書館人以外から見たメタデータ – データのデータといわれても・・・
図書館は難解な用語が多すぎる!と門外漢の先生方はおっしゃいます。
石井 保廣 氏(別府大学)

13:30-13:50 (A) 高精細デジタル化とマスデジタイゼーション
資料の種類によって電子化する手法が異なります。資料特性に合わせた電子化の考え方を説明します。
村松 桂 氏(慶應義塾大学)

休憩

14:00-16:15 (A) リポジトリ業務実習 – グループワーカー (35分×3コマ)
前回好評だった入力業務のすべてが分かる(?)実習。3グループに分かれて
①~③を体験できます。

①メタデータ登録実習 – junii2 対応のための「紀要」登録実習 –
難易度が少し高い問題を皆さんに解いてもらいます。
(実習担当:中村 健(大阪市立大学)・磯野 肇(奈良大学))

②PDF 加工実習 – ノイズ除去とマスキング –
Adobe Acrobat と e.Typist を使用して、PDF を加工してみよう。
(実習担当:伊豆田 幸司(近畿大学)・青木 斐(近畿大学))

③2年で6500件! 楽しく作ろうリポジトリ – アシスト君プッは働き者か? –
じゃじゃ馬が馴れたら名馬? に変身! …調教が大変です?。
(実習担当:石井 保廣(別府大学)・五十嵐 健一(慶應義塾大学))

休憩

16:30-17:30 (C) junii2 ガイドラインと SURE メタデータ
junii2 ガイドラインの目的や要点をお話します。また、機関リポジトリのメタデータの設計について、静岡大学学術リポジトリ(SURE)の実践例を紹介します。
杉山 智章 氏(静岡大学)

移動

18:00- 情報交換会(クリスマス編)

【 2 日目 】 12 月 22 日(木)

- 10:00-11:00 (C) 図書館目録とメタデータ –その接点と距離–
同じようでもあり、どこか違うようでもある目録とメタデータ。変わりつつある目録法の
世界をベースに、その共通・相違を考えてみます。

渡邊 隆弘 氏(帝塚山学院大学)

休憩

- 11:05-12:00 (B) 新 XooNIPS 最新情報
現在も鋭意開発中の新 XooNIPS。いよいよその機能全貌が見えてきました。ここ
ではその新機能や特徴など最新の状況を実際の画面を交えてご紹介します。

奥村 嘉宏 氏(理化学研究所)

昼食(研究者交流室開放)

- 13:00-14:10 (B) リポジトリの構築実習とカスタマイズ演習
実際のリポジトリ構築で必要となる設定変更などを体験してみます。
五十嵐 健一 氏(慶應義塾大学)・磯野 肇 氏(奈良大学)

休憩

- 14:15-15:05 (C) Google Library project 機関リポジトリから電子学術書への展開
機関リポジトリのノウハウをいかした次の展開をお話します。
入江 伸 氏(慶應義塾大学)

- 15:05-15:35 (C) 機関リポジトリのフレームを利用した電子図書館構想
InfoLib(Infocom 社), BookDriveMini(Atiz 社), PDFCompressor(LuraTech 社)等
のソフトやツールを組み合わせれば、まだまだ展開はある! ?

湖城 強 氏(大阪市立大学)

休憩

- 15:45-16:45 (C) 東西対抗、ディスカバリー・サービス報告会
新しい検索システムとして注目されている Summon, Primo などのディスカバリー
・サービス。その特徴を大喜利形式で明らかにしていきます。お題は「メタデ
ータを充実させる」「日本語データの特徴」などを予定。
飯野 勝則 氏(佛教大学/Summon)・五十嵐 健一 氏/古賀 理恵子 氏(慶應義塾大学/Primo)
司会:中村 健(大阪市立大学)

- 16:45-17:00 ディスカッションタイム –まとめ・質問受付・情報提供など–
入江 伸 氏(慶應義塾大学))

移動

- 18:00- 情報交換会(年忘れ編)